

こっこめ通信 04 2003

「フリージアと新緑の香り」号

八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

3月はとても寒く、11日には八丈富士の頂上に雪が積もり、春は何处へいってしまったんだろうか？と思える陽気でした。また、太陽が恋しくなるほど雨や曇りの日が多く、花のつぼみも固く閉じたままでした。

それでも最後の週ようやく暖くなり、一気に春の訪れを感じられるようになりました。八丈富士や三原山では、オオシマザクラで白く、アカメガシワの新芽で赤くなっている所があります。日々新緑も濃くなってくるのがうれしいですね。

さて今月は、「フリージアまつり」と「オオシマザクラの花見」、そして先日行われた講演会「八丈島のエビ・カニ類」のお話です。

フリージアとオオシマザクラ



3月21日「第37回フリージアまつり」が始まりました。この祭りに開花をあわせたフリージアは、白や黄、ピンクなど色とりどりの花を咲かせ、周りに漂うフリージアの香りがさらに春を感じさせてくれます。観光客には無料摘み取りもありますので、ぜひ春の八丈島を訪れてほしいものです。「フリージアまつり」は4月5日まで毎日開催しています。

また、23日には「植物公園でお花見」という春らしい行事も行われました。しかし、今年はオオシマザクラの咲きがいまいちで、花見場所のサクラはまだつぼみのままでした。それでも八丈太鼓やハーブティー、手作りクッキーで青空の下、春の風を感じていました。



「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のエビ・カニ類

3月22日、千葉県立中央博物館分館 海の博物館の奥野 淳児さんを迎えて、講演会「八丈島のエビ・カニ類」が行われました。急な日程変更や大雨にもかかわらずたくさんの方に来ていただきました。

講演の内容は、エビ・カニ類の不思議な生態や奥野さんが行っている分類の苦労話、八丈島で見つけて名前が付いた種や新種など、いろいろ興味深いお話をしていただきました。

なかでも、背負っている貝殻にイソギンチャクをつけるサメハダヤドカリやハサミでイソギンチャクを挟んでいるキンチャクガニ・ケブカキンチャクガニなど、イソギンチャクを利用して共生関係を築いている面白いお話もありました。

他にもエビ・カニ類にはいろいろな共生関係を築いているものがあり、イソギンチャクの中に棲むものや魚の体をお掃除するクリーナーシュリンプと呼ばれるもの、魚のハゼ類と一緒に穴の中に棲むテッポウエビ類など変わった生態をビデオとスライドを使って説明していただきました。



八丈島ではベニヒモイソギンチャクをつけているヤドカリは、ほとんどがこの「サメハダヤドカリ」です。

このヤドカリは貝を引っ越す時に、ハサミをうまく使ってイソギンチャクを取り外し、新しい貝に付け直します。

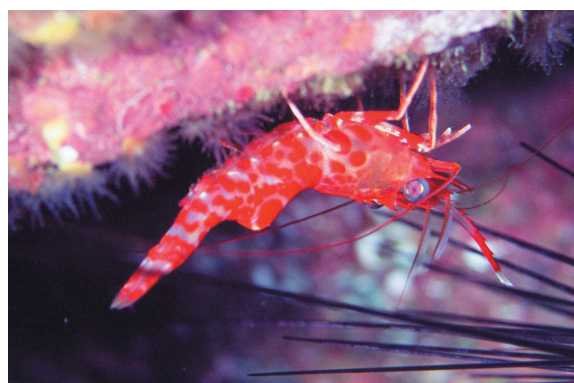
八丈島でダイビング中に転石の下を探すと派手な色をした「キンチャクガニ」が出てきます。

ハサミにカニハサミイソギンチャクを挟み、敵が近づいてくると敵に向かって振りかざすことから、海外では「ボクサークラブ」と呼ばれています。



八丈島から見つけたエビ・カニの新種

標準和名	学名
ハチジョウヒライソモドキ	<i>Ptychognathus hachijoensis</i> Sakai, 1955
ヤイトサラサエビ	<i>Rhynchocinetes conspicuocellus</i> Okuno & Takeda, 1992
アカモンサラサエビ	<i>Cinetorhynchus erysrostictus</i> Okuno, 1997
エンヤサラサエビ	<i>Cinetorhynchus reticulatus</i> Okuno, 1997
ハチジョウクラヤミカクレエビ	<i>Palaemonella hachijo</i> Okuno, 1999
フルセゼブラヤドカリ	<i>Pylopaguropsis furusei</i> Asakura, 2000



奥野さんのお話では、八丈島で見つけた個体から新種として記載されたものや、新たに八丈島で採取した標本から名前が付いたものなどたくさんいるそうです。

写真の「アカモンサラサエビ」は、以前は別の名前で紹介されていましたが、奥野さんがよく調べたところ別種であることが分かり、1997年に八丈島の個体で新種記載したものです。暗闇を好み、洞窟や穴の多い八丈島では普通に見ることができます。

「フルセゼブラヤドカリ」は、以前ビジターセンターで働いていた古瀬さんが見つけたことから付けられた名前です。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。

今回は3月9日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査 (平成 15 年第 3 回)

平成 15 年 3 月 9 日 (日) 13 時 30 分～15 時

参加者・白瀬、伊藤、菊池、片岡他 1 名、V.C. 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草 本			木 本		
1	オランダミミナグサ	花	1	アオキ	花
2	スズメノカタビラ	花	2	ヒサカキ	花
3	ヒナギキョウ	蕾	3	ハチジョウキブシ	花、咲き始め
4	ウスベニニガナ	花	4	タイミンタチバナ	花と新葉
5	オニタビラコ	花、葉を出した花茎あり	5	ヤツデ	実
6	ホトケノザ	蕾	6	トベラ	芽が膨らむ
7	シロバナマンテマ	花	7	オオシマザクラ	早い花
8	オオシマカンスゲ	実	8	ヤマモモ	花
9	ウラシマソウ	花、2 枚葉あり	9	モチノキ	花
10	ツワブキ	新芽	10	スダジイ	早い新葉
11	シチトウスミレ	蕾	11	オオバヤシャブシ	花
12	アシタバ	実	12	ツルグミ	新葉
13	アツバスマレ	花	13	ハチジョウイボタ	早い新葉
14	マツバラソ	胞子	14	カジイチゴ	花
15	ニラバラソ	葉のみ	15	アカメガシワ	赤い新葉
16	ハナイバナ	花	16	ホルトノキ	実
17	ケナシヒメムカシヨモギ	種			
18	アキノノゲシ	種			
19	チチコグサモドキ	花			
20	イガガヤツリ	花			
21	カヤツリグサ	種			
22	ワラビ	新芽			
23	ハキダメギク	花			
24	コセンダングサ	花と種			
25	カタバミ	花			
26	タネツケバナ	花と種			
27	シロバナセンダングサ	花と種	今回は雑誌「子供の科学」の取材班が同行、 45 種を観察しました。 次回調査は 4 月 13 日 (日) です。		
28	キラソウ	蕾			
29	ハコベ	花			

※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月 1 回程度行なっています。

興味のある人は窓口でお問い合わせください。

植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。
今回は、これから咲き始める「ハチジョウキブシ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウキブシ

Stachyurus praecox var. matsuzakii

キブシ科の落葉小高木。伊豆諸島や本州（関東南部・東海地方）に見られ、キブシよりも枝が太く、葉がやや厚く大きくなります。
島の中では、海岸沿いから山地まで広範囲で見ることが出来ます。

雌雄異株で、3月になると写真のように淡黄色のたくさんの花をつけます。島言葉で「シドコ」と呼びます。

2003 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は 特別行事があります		1 05:16 11:11 17:12 23:19	● 2 05:33 11:35 17:46 23:46	3 05:51 12:01 18:20	4 06:09 00:12 18:55 12:28	清明 5 ガイドウォーク 06:28 00:37 19:30 12:57
6 ガイドウォーク 06:47 01:02 20:08 13:28	7 07:05 01:25 20:52 14:02	8 07:21 01:47 21:54 14:43	9 07:37 02:09 23:58 15:40	☾ 10 02:39 07:49 17:07	11 02:33 18:50	12 ガイドウォーク 03:03 09:02 13:07 20:07
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 03:28 09:21 14:32 21:04	14 03:53 09:48 15:31 21:50	15 04:19 10:19 16:23 22:32	16 04:44 10:52 17:12 23:11	○ 17 05:10 11:27 18:02 23:48	18 05:35 12:03 18:51	19 ガイドウォーク 06:01 00:23 19:43 12:42
穀雨 20 ガイドウォーク 06:26 00:57 20:40 13:23	21 06:52 01:30 21:48 14:09	22 07:18 02:05 23:22 15:02	☾ 23 02:55 07:45 16:12	24 01:20 05:38 08:10 17:46	25 02:22 08:38 11:46 19:18	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「鳥のさえずりを 聞き分けよう」 02:55 09:02 13:55 20:23
27 ガイドウォーク 03:20 09:27 15:00 21:09	28 03:42 09:50 15:47 21:46	29 ガイドウォーク GW特別行事 「八丈富士 ハイキング」 04:02 10:14 16:27 22:18	30 04:22 10:39 17:03 22:49			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
4/13（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「野鳥のさえずりを 聞き分けよう」

毎月行っている八丈学講座。今回は、鴨川周辺の野鳥の観察会、イイジマムシクイも！
4/26（13:30～ 約1時間半）雨天中止
中学生以上 ホタル水路集合・解散 参加費：100円（保険料） 定員：15名

GW特別行事 「八丈富士ハイキング」

GW恒例の八丈富士ハイキング、今年の天候はどうなるでしょうか？
4/29（10:00～ 約5時間）雨天中止
小学4年生以上 富士登山口集合・解散 参加費：100円（保険料） 定員：15名
持ち物：雨具、飲み物、お弁当（頂上付近は寒いので防寒対策が必要）

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ 八丈・四季・人・自然

14:00～ 八丈・四季・人・自然

15:00～ 八丈・四季・人・自然

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.4.1 第23号

開館時間 9:00～16:30 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

悲しいことですが戦争が始まってしまいました。人間はどうして自分から命を絶ったり、人を殺したりするのでしょうか？ 憎しみあわない、笑顔のたえない世界になるといいですね。（高）